

事例検討基礎実習Ⅱ

選択 1単位

笠井 さつき

1. 授業の概要(ねらい)

グループでの事例検討では、もちろん現場での臨床的な当事者間のリアリティはある程度損なわれざるを得ないが、当事者間だけでは見失いがちな客観的視点を取り戻し、視野を広げ、技法や理論・病理などの理解を深め、孤立せずに支えを得ることが可能である。これは報告者だけではなく、参加者にも有用な方法であり、まさに、心理療法家となるうえで必須のトレーニングであるといえる。

初学者として事例検討会に陪席することで、事例検討の実際について学ぶ。つまり、詳細に報告された事例からケースの見立て方や面接の進め方を学び、教員を含めた参加者とでなされる討論から、様々な立場からのケースへのアプローチや論点について学ぶ。この実習は、心理療法の実践的なトレーニングの第一段階となるものである。実際に事例検討会に参加しながら、交互にふりかえりとエピソード記述の実習を繰り返すことで、ケースの確実な理解とその理解を伝える技術の獲得を目指す。

2. 授業の到達目標

本実習は、初学者として事例検討会に参加するものであり、準備を含めた参加の態度や守秘義務の遵守、クライアントの尊重といった心理療法家の基本を習得する。

3. 成績評価の方法および基準

授業、事例検討会への参加・討論での態度、リアクションペーパー等を通して、総合的に判断する。

4. 教科書・参考文献

教科書

適宜提示する。

参考文献

授業の進行に沿って適宜紹介する

5. 準備学修の内容

関連する各講義(心理療法特論、臨床心理学特論、臨床心理面接特論など)を受講することはもちろん、各講義で提示された文献を読み、事前学習を欠かさず、積極的な態度で臨んで欲しい。心理療法に関する知見を深めて置くことが望ましい。

6. その他履修上の注意事項

心理臨床センターでのケース担当のために必須の授業ですので、必ず履修してください。

真剣に学ぼうとしている他の院生の邪魔をしないこと(私語、携帯電話、遅刻・欠席など)。

主体的・創造的な参加が望まれる。

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション
- 【第2回】 事例検討会
- 【第3回】 ふりかえり
エピソード記述1
- 【第4回】 事例検討会
- 【第5回】 ふりかえり
エピソード記述発表1
- 【第6回】 事例検討会
- 【第7回】 第6回事例検討会解説及び関連事例論文講読課題(オンデマンド形式)
- 【第8回】 事例検討会
- 【第9回】 ふりかえり
エピソード記述2
- 【第10回】 事例検討会
- 【第11回】 ふりかえり
エピソード記述2発表
- 【第12回】 事例検討会
- 【第13回】 ふりかえり
- 【第14回】 事例検討会
- 【第15回】 ふりかえり
1年間のまとめ